

中部大学国際関係学部設立25周年記念セミナー

この25年間日本社会を取り巻く
内外の変化

ウルリッヒ・メーワルト

87 9 13



中部大学国際関係学部は1984年(昭和59年)4月1日にスタートした。同じ年の10月12日に名古屋国際センターが開催された。私自身は、1987年(昭和62年)9月1日に成田空港に到着した。今日の話は、私が経験した変化を中心として、中部大学国際関係学部設立25周年前後の日本社会の変化と日本を取り巻く国際環境の変化を考察する予定でしたが、国際関係学部の25年記念講座の計画中で私の課題がかなり変わった。私の写真を使うことが頼まれた。私は1974年に写真を撮り始めた。私の写真は人間を日常の状況で撮るものだ。その殆どは路上で撮る。今日は、日本で滞在した22年間で撮った写真を中心として、私が経験した日本について話して、日本社会の変化を考察する。これは、私のパーソナル視角からの考察だ。

私は、1987年9月1日に日本に着いた時は、バブル経済の最中だった。実際には、バブル経済が既に1981年の日本の金融市場の開放でスタートした。

バブル時代の重要なキーワードは「国際化」だった。「国際化」という概念は本来経済学でできた。企業が国際市場に巻き込んでいる事柄に目指した概念だ。確かに、バブルの背景には、日本企業が昭和50年代にますます国際市場に巻き込んできたことも働いた。特に金融市場の開放の後に、欧米の重要な市場に日本の金融会社、東京と大阪に外資の金融会社が急激に増えた。けれども、バブル時代の日本では、国際化はむしろ複数の国々が互いの経済的、社会的と文化的な交流を進める意味で使った。「日本が国際社会に開くべきだ」と言うような規範的な文脈も存在した。どの市・町・村でも国際化を振興しようとする活動が多発した。バブル経済と国際化は、日本社会の急速な変化を起こした。



熊本県のある中学校の生徒は修学旅行中で鎌倉大仏の前に外国人の観光者と対話する。鎌倉、1988年4月。



明治神宮を訪れる外国人の観光者、1987年9月



米沢市の1988年度の上杉神社祭りでは、アメリカ・ワシントン州の姉妹都市Mose Lakeのビューティ・クイーンが大人気だった。1988年5月。



日本は国際社会の一員だ！幼稚園の運動会に全世界の国旗が表示されている。
愛知県豊明市、1987年9月。



同時に欧米では、日本のイメージの大きなパラダイム転換も起こった。私は1970年の秋に社会学と民族学を主専攻、日本学と中国学を副専攻としてマルブルゴ大学に入学した。日本学の新生は二人だった。それでは、マルブルゴ大学の日本学の学生数が大学院生を含んで6人になった。あの頃の西ドイツにおいて日本研究を専攻した学生の総数は200人位だった。これに加えて、ドイツの日本研究は日本の古典文学と古典文化に集中した。当時のドイツでは日本に関する関心があまり流行っていなかった。これは西ドイツに限られたことではない。ヨーロッパの他の国々でも、日本に関して研究する人々が非常に少なかった。

当時のヨーロッパにおける日本のイメージは東アジアの極端にある小さな発展途上国のそれだった。日本は思い浮かんだキーワードは着物、富士ヤマ(富士山)、芸者と広島原爆だった。日本の工業がそのイメージに入った場合、これは「ヨーロッパのものをコピーする劣等な安い物を作る国だ」という事に限られた。日本は、ヨーロッパにとって重要な国として認識されなかった。日本に関する情報の多くも凄く古い資料に基づいた。明治時代の記録もそのまま当時の日本の社会事情を描くために使っていたこともある。



農村の女性。宇治、写真:Herbert Ponting, 1904年

Herbert Pontingはイギリスの写真家だった。彼は1900年～1910年に何回とも日本を訪れた。Pontingは早い頃の報道写真家だって、彼の写真はアメリカのUnderwood & Underwood写真代理店によって販売された。私が一年生として読んだ一つの本において、彼の写真は何枚も使われた。その本は1969年に出版された同時の日本の事情をテーマとしたものだった。本で使った写真はすでに65年前に撮ったものだとどこでも説明されなかった。私は1980年に古本屋さんでPontingの1911年の”In Lotus Land Japan”という本が手に入った時さえ、この事実を分かった。本で使った写真は、出版社によって写真代理店から購入されたと思うが、執筆者もその古い写真を使うことに反対ではなかった。

1970年代を通じて、徐々に日本製のものはヨーロッパの市場に登場した。ドイツでは、既に1960年代後半以降日本製のトランジスタラジオと50ccのオートバイクが現れたが、1970年前後から、日本製のステレオとカメラが急速に増えた。これを背景として、日本製の品物のイメージも徐々に変わって、「現代の日本を研究する専門家が必要」という声も時々聞こえるようになって、日本学を選ぶ学生の数も少し増えつつあった。

しかし、1970年代の末に日本製の自動車がヨーロッパの市場に登場した後、この状況が急速に変わった。1980年前後、日本製のステレオ、ラジオ、カセットプレーヤ、オートバイク、カメラなどはヨーロッパの市場に圧倒的なマーケット・シェアを占めてきた。新技術の導入とオイルショックによって加速されたヨーロッパの産業構造変化によって、1970年代を通じて西ドイツの多くの会社は、以前に有名な大衆消費向けの商品の生産をやめて、自動車産業は大衆消費財生産の単一の膨大

な産業になった。当時の日本の市場はヨーロッパのメーカーにとって閉鎖されながら、日本製の車の登場は、日本のメーカーがこのヨーロッパの産業にとって凄く重要な自動車市場を攻撃するよう見られてきた。突然、日本は危険な競争相手として認識されてきた。ドイツには、急速に日本に関する雑誌や新聞の記事、またはポピュラー本があふれてきた。その殆どはジャパンバッシングに偏った。ドイツの場合には、このジャパンバッシングは、日本の経済発展の社会的な費用に重点を置いた。環境汚染の問題、社会福祉制度の遅れ、長い労働時間、住民の生活の質の悪さ(日本人はウサギ小屋、つまり二箱で生活を暮らす)などは繰り返して挙げられてきた。当時の日本は単に皆が国際化に努力した国ではなかった。外国人の流入に対して違和感を抱き、国内市場を国際的な競争に対して守ろうとした鎖国派が政府と政治家の一部に強かった。バブル時代はジャパンバッシングといわゆる「文化摩擦」の時代でもあった。

DER SPIEGEL

C 7007 CX
Nr. 30
34. Jahrgang · DM 3,-
21. Juli 1980

Japan-Autos Europa kommt unter die Räder



DER SPIEGEL

C 7007 C
Nr. 1
36. Jahrgang · DM 3,50
4. Januar 1982



ドイツの最大の週刊誌”Der Spiegel”1980年の第30号(7月21日)と1982年の第1号(1月4日)

しかし、同時に、日本の経済発展の成功を高く積極的に評価する声も出てきた。1980年の後には、日本のイメージが突然発展途上国のそれから先端に発達した国のそれに変わった。オイルショックの後に起こった産業の構造変化と工業の電子化の対応で悩んだ欧米の諸国において日本の奇跡から何か習うことはできないのかという立場は特に産業界、政治家、学者などによって提供されてきた。この様な人は、ドイツの日本研究が当時の日本を正しく把握することに失敗した批判も主張して、ドイツは、現代の日本を理解できる専門家が必要であると要求した。このパラダイム転換によって、現代日本の研究に凄い拍車がかかってきた。1980年代の初頭から日本学の入学者が急速に増え、同年代の末に日本研究を専攻した学生の総数は何千人に及んできた。日本に強い関心を持つ経済学者、政治学者、社会学者、文化人類学者などもその時期に増えつつあった。現代の日本はヨーロッパにおける日本研究の中心になった。

日本の他に、東アジアの”little tigers”つまり、1980年以降産業化が凄いスピードで進んできたNICsの韓国、台湾、香港やシンガポールも視野に入ってきた。「21世紀は東アジアの世紀だ」と考えるようになった。言うまでもないが、この新しいイメージは、トヨタ・システムなどだけに眼を向けて、当時の日本の社会の隠れた弱点を無視することだった。バブルの崩壊によって、その弱点が明らかになった。日本の政府はバブルの崩壊によってもたらされた金融産業の問題を解決することができず、デフレーションと融資難を背景として、日本は平成不景気にすべり込んだ。1990年代末に、欧米における日本のイメージは更に日本の奇跡から日本病のそれに変わって、多くの国々で、1980年代に拡大した日本研究がダウンサイジングされてきた。

今から、私の写真を見せながら、話を進むと思う。



東京都杉並区高円寺・ペンギンハウスのマスター、1988年と2000年



東京都立川市・朝日タウンズの事務所、1991年
3月3日



春日井市・中部大学国際関係学部事務室
2001年4月23日



神奈川県鎌倉市・高德院、1992年1月26日



名古屋市中区栄、2001年3月13日



神奈川県鎌倉市・鎌倉大仏前、1988年4月19日



名古屋市中区名古屋駅、2001年3月9日



神奈川県鎌倉市・鶴岡八幡宮、1988年4月19日



名古屋市千種区星ヶ丘、2000年7月31日



東京・杉並区・高円寺、1987年9月13日



仙台市鶴ヶ谷字佐野原、1987年10月2日



東京駅・八重洲口、1987年10月23日



愛知県豊明市、1987年9月27日



仙台市鶴ヶ谷字佐野原、1987年11月21日



仙台市・中央市場、1987年11月21日



東京・港区・白金台、1988年4月3日



東京・浅草観音、1988年4月18日



仙台市・鶴ヶ谷字佐野原、1988年5月4日



東京・御徒町、1988年7月30日



東京都・立川市・譏訪神社、1988年8月27日

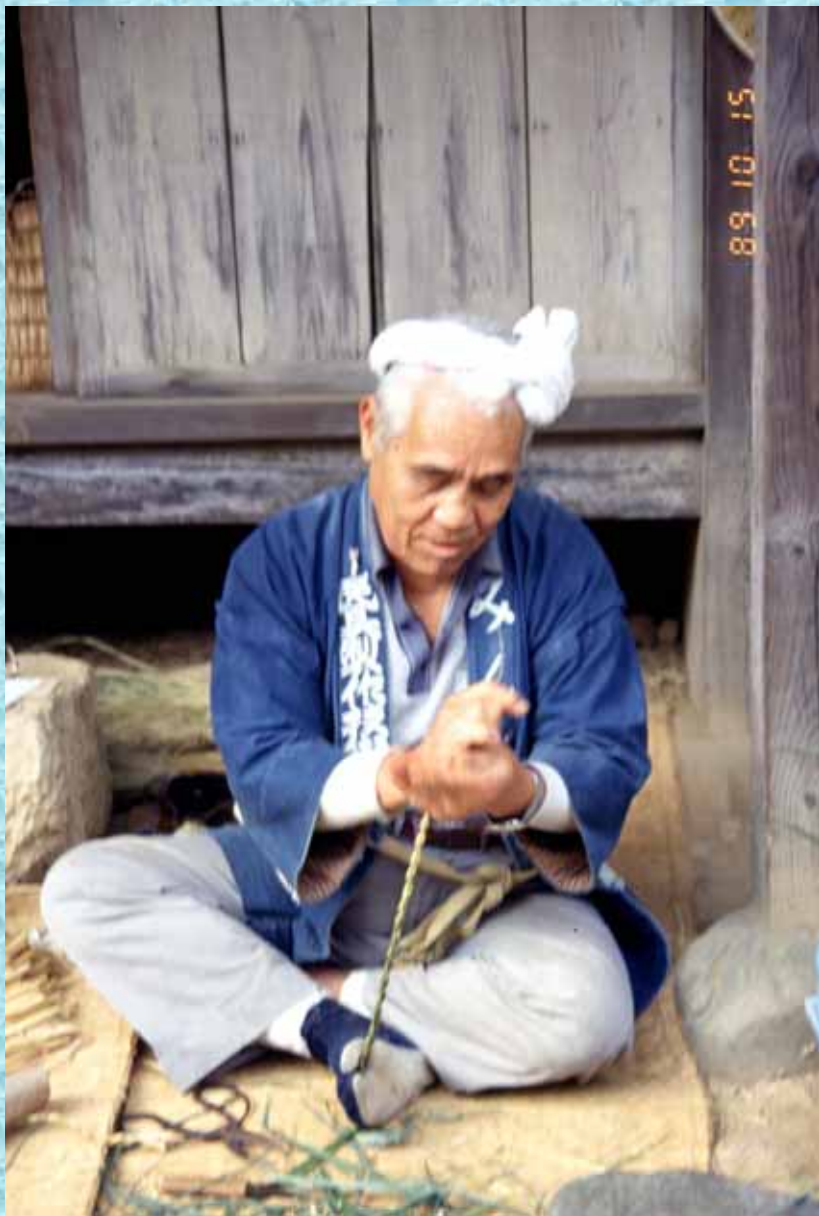


東京都杉並区高円寺、1989年8月28日





横浜市、1989年8月13日



神奈川県川崎市・日本民家園、1989年10月15日



東京都立川市・朝鮮人部落、1990年7月1日



山形県、最上川、1990年4月1日



東京都羽村市、1990年4月10日



東京都・立川駅、1990年12月27日



北海道・知麻・宇登呂、1990年8月18日



東京都杉並区久我山・高井戸西、1991年8月18日・8月25日



東京都杉並区久我山、1991年8月18日



東京御岳山、1991年5月12日



宮城県、作並温泉、1992年7月24日



仙台市・中央市場、1992年7月25日



東京都秋川(現あきる野市)、1992年10月25日



東京都秋川(現あきる野市)、1992年10月25日



三重県鳥羽市、1993年7月19日



三重県鳥羽市、1993年7月20日



東京都杉並区高円寺・ペンギンハウス、1993年6月25日



三重県鳥羽市、1993年7月19日



名古屋市昭和区八事本町興正寺、1993年12月5日



愛知県春日井市中部大学、1994年3月23日



京都市・七条通、1994年8月9日



愛知県常滑市、1994年5月3日



名古屋市名東区一社中央公園、1995年8月20日



名古屋市千種区平和公園、1995年5月6日



愛知県豊田市足助町香嵐溪、1995年7月9日



名古屋市名東区高間町、1996年9月7日



名古屋市昭和区・大須大道町人祭り、1996年10月13日



名古屋市昭和区・大須大道町人祭り、1996年10月13日



名古屋市昭和区・大須大道町人祭り、1997年10月12日



名古屋市昭和区・大須大道町人祭り、
1997年10月12日



名古屋市・東山線、1997年11月4日



愛知県春日井市、1998年7月18日



名古屋市昭和区鶴舞公園、1998年3月28日



名古屋市・名城線、1998年1月26日



名古屋市中央線、1999年7月9日



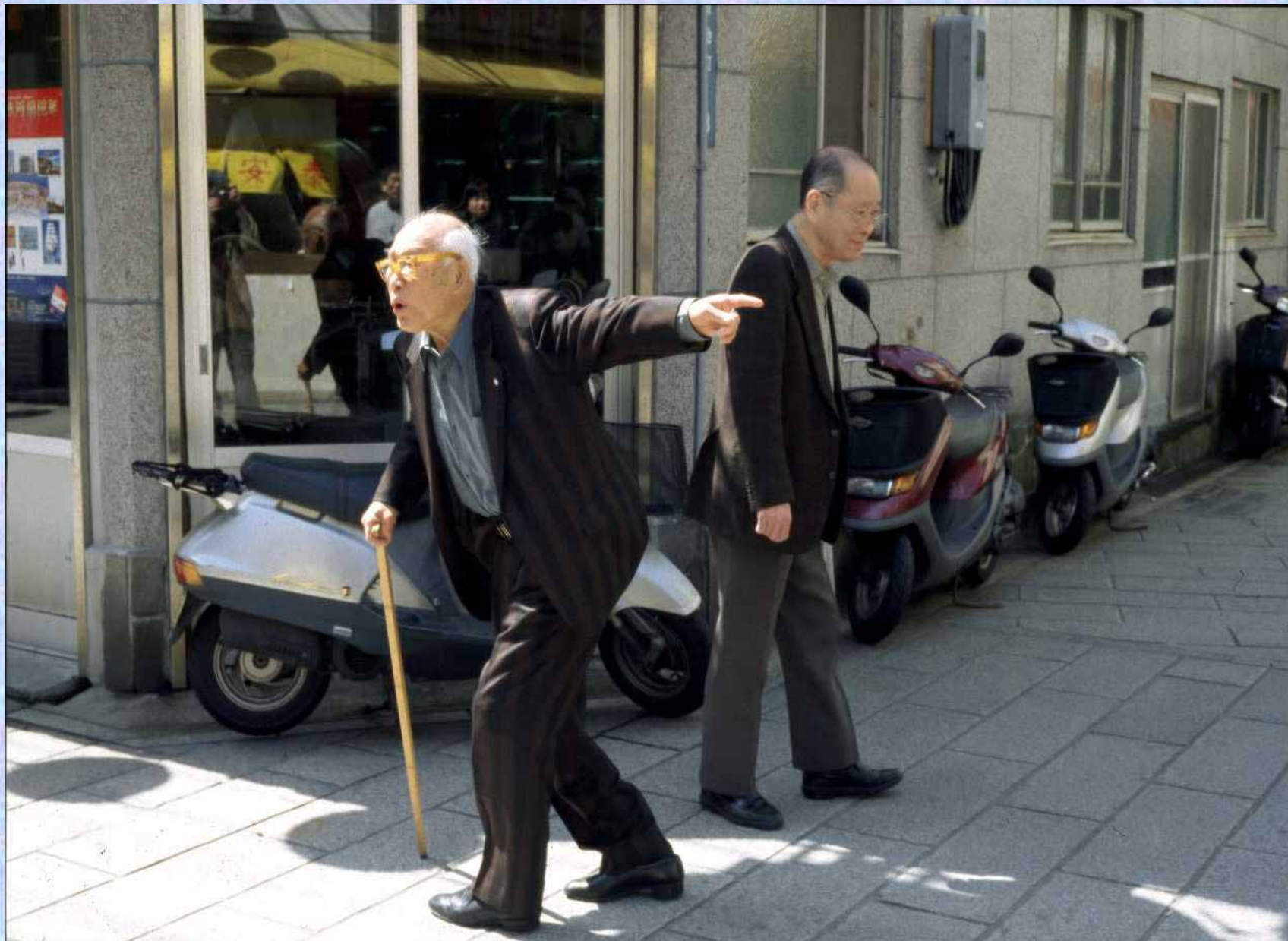
名古屋市千種区覚王山夏祭り、1999年7月24日



名古屋市中区栄、1999年12月11日



長野県・妻籠宿、1999年9月12日



長崎市中華街、2000年3月25日



名古屋市中区栄、2000年6月7日



名古屋市中区大須商店街、2000年8月12日



名古屋市名東区名東本通、2001年9月14日



名古屋市瑞穂区山崎川、2001年4月1日



名古屋市名東区名東本通、2001年5月28日



三重県伊勢市、2001年3月17日



名古屋市名東区一社、2001年7月13日



名古屋市千種区今池MISFITS、2002年11月29日



名古屋市中区名城公園Nagoya Walkathlone、
2002年5月26日



名古屋市東山線、2002年10月13日



名古屋市名東区東山線一社駅、2002年10月15日



名古屋市千種区池下、2003年5月17日



名古屋千種区今池MISFITS、2003年6月15日



奈良市東大寺、2003年9月9日



名古屋市昭和区大須、2004年8月22日



名古屋市名東区藤ヶ丘、2004年9月12日



三重県松坂駅、2004年9月23日



愛知県長久手町・愛知万博会場、2005年5月5日



愛知県長久手町・愛知万博会場、2005年5月5日



愛知県長久手町・愛知万博会場、2005年5月5日



東京都立川市柏町、2006年7月15日



名古屋市中区栄、2006年8月15日



名古屋市中区栄、2006年8月15日



名古屋中区栄、2007年2月24日



名古屋市名東区高間町、2007年7月31日



名古屋市中区栄、2007年10月13日



愛知県春日井市松本町中部大学、2008年3月22日



愛知県春日井市松本町中部大学、2008年7月10日



愛知県春日井市松本町中部大学、2008年11月2日



福岡市中洲、2009年5月16日



大阪市天王寺区生國魂神社、2009年7月11日



大阪市天王寺区生國魂神社、2009年7月11日